



▶ 主な内容 P1-P3…花火を支える皆さんにインタビュー P4…8月の相談日程、しあわせ仕掛け人、教養講座「観音菩薩像のはなし」

Interview インタビュー



名張川納涼花火大会実行委員会
名張商工会議所
かわきた みちのち
川北 道治さん

昭和5年の参宮急行電鉄(現近鉄)の開通を記念して、その翌年から始まった「名張川納涼花火大会」。戦争で5年中断されましたが、これ以降とぎれることなく実施。現在は、わたしたち商工会

議所のほか、市観光協会、市などが実行委員会を組織し、運営しています。
この伝統ある花火大会をみんなが守り続け、名張の元気を市内外に発信していきたいと考えていま

す。ただ花火を打ち上げるだけでなく毎回テーマを設け、花火のいろいろな楽しみ方を提案しています。今年の花火のテーマは「響」です。山間で打ち上げられる花火の音の響きをお楽しみください。きっと皆さんの心に響くはずですよ。
近年は、景気悪化により、全国各地で企業協賛が集まらず花火大会の中止・縮小が相次いでいます。企業の皆さんに花火大会への協賛をお願いし、なんとか協力をいただけるように取り組んでいます。また、市民の皆さんにも協賛いただくような仕組みを設け、花火大会の費用に充てています。今

花火大会を応援しよう!

- ◆市民協賛募金箱を市役所1階ロビー、(社)名張市観光協会(産業振興センターアスパ/南町)に7月23日迄まで設置しています。
- ◆有料観覧席販売中(1,000円/席)
※7月10日田から販売開始しています。
- 詳しくは、(社)名張市観光協会(☎63-9087)へ

名張川納涼花火大会協賛金の推移

	企業協賛金	市民協賛金
平成18年	9,653,000円	708,200円
平成19年	10,916,000円	1,176,700円
平成20年	10,286,895円	890,500円
平成21年	10,475,400円	865,082円

市民協賛金には、駐車場協力金(平成18年~)、映画協賛金(平成19年)有料観覧席代金(平成18年~21年※)を含みます。
※平成21年は、協賛金2,000円につき1席を用意しました。

伝統ある花火大会を守り、名張の元気を発信したい!



名張の花火
熱き思い
を支える

昭和6年に始まった「名張川納涼花火大会」。今年は7月24日田に開催します。
毎年、この花火大会を楽しみにしている人は多いのではないのでしょうか。しかし、この花火大会を支える人たちがたくさんいることはありません。
今号では、名張の花火を支える皆さんに、花火大会にかける熱い思いを伺いました。

☎商工観光室 63・7648

◎2ページへ続く

-Interview インタビュー-

脇坂火薬(株)4代目 花火師

脇坂 高久さん



花火は遊び心。夢を与えたい!

「名張川納涼花火大会」の打ち上げは、花火大会の始まった昭和6年、初代のときからさせていたでいています。

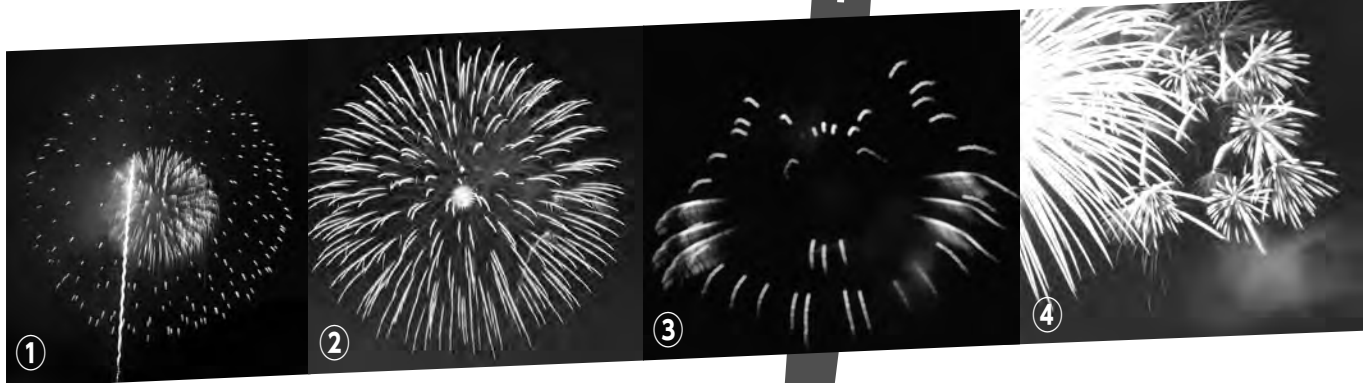
花火は遊び心が大切。花火を見て子どものような心になって帰っていただきたい。また、沈んだ心の人には、夢を与えられるような花火を打ち上げたい。そんな思いで、前年よりもすばらしいものになるように、創意工夫で、新しく、変化のある花火大会を心掛けています。

花火大会で使用できる花火玉の大きさは、県で定める保安距離(打ち上げ場所から観客や、建物までの定められた距離)によって決められています。全国でも珍しく、市街地で打ち上げる「名張川納涼花火大会」では8号玉(開いた時直径280メートル)まで打ち上げることができ、迫力を感じていただけます。

次に花火の種類ですが、当社で

全ての花火を作っているわけではありません。全国にある協力会社との協力体制で全国各地で作られる花火の打ち上げが可能です。実は、花火の打ち上げが可能な、秋田県の大曲で開催された全国花火競技大会創造花火の部で優勝した「えっ!アフロでマンボ!?」という名前の花火の打ち上げを予定していますのでぜひご期待ください。

打ち上げるときに気をつけていることは、花火を見る人に満足いただき、心に残るような構成にすることです。花火と花火の間隔が長いと感ずることはありませんか。これは、会場で、煙がたちこめたりすることにより「煙待ち」をしているためです。特に湿度が高いと煙がよく出るんです。また、立ち入り禁止区域に入ってくる人があり、安全のため打ち上げを一時中断したということもありました。安全な打ち上げにご協力お願いします。



熱き思い 名張の花火を支える

花火巨知織

一口に花火といっても、いろいろな種類、分類があります。大まかに「割物」「ポカ物」「半割物」の三つに分類されます。

「割物」は、中心に破弾薬があり球状に開くものです。尾を引かないものを「牡丹」(写真①)と呼び、流れ星のように尾を引くものを「菊」(写真②)と呼びます。

また、割物で2重、3重に同心円を作るものがあり、2重を「芯物」3重を「八重芯」、4重を「三重芯」といいます。

ほかにも形を描き出す花火「型物」(写真③)などがあります。

「ポカ物」は、上空で玉がポカッと2つに割れて内容物を放出します。(柳など)

「半割物」は、割物とポカ物の中間の機能で小さな玉(小花)をたくさん詰めて開かせるものです。(写真④)

脇坂さんに聞きました! 花火の見方

花火の美しさに感動していただくのはもちろん、次のような花火を見るポイントがあるんです!

玉の座り…打ち上げられた玉が、昇り切ったときに花を開くのがよいといわれます。「玉の座りが良い」といいます。

盆…星(色や光を出す火薬の玉)が飛び散って作る球状を盆といい、それが完全な円形であることがよいといわれます。

肩…星が放射線上にまっすぐ飛ぶのがよいといわれます。「肩のはりがよい」といいます。

消え口…星は一斉に開き、変化し、パッと消えるのがよいといわれます。「消え口が揃う」といいます。

「大会プログラム」は、7月23日(金)に新聞折り込みされます。交通規制や立ち入り禁止区域についてもご確認ください。観光協会ホームページ (<http://www.e-net.or.jp/user/n-kankou/>) でも確認できます。

Interview **インタビュー**



火祭りで花火大会を盛り上げたい！

新町区長 **辻本 武久**さん

祭礼日と花火大会は別の日となりましたが、昭和48年に復活した「愛宕の火祭り」は、花火大会と同じに行い、花火の開始の合図にもなっています。みこしを先頭に川の中央に松明がさしかかったときに新町区奉納仕掛け花火が点火され、川面に松明のあかりが浮かび上がるところ、また樽太鼓で松明を迎えるところが見どころです。「愛宕の火祭り」で花火を盛り上げますので、ぜひご覧ください。

平成19年に、「名張川納涼花火大会」は、24日以降の土曜日開催になりましたが、実行委員会からは平成16年から土曜日に開催したいという要請を受けていました。新町区では、愛宕神社の祭礼日と花火大会の切り離しについて、伝統を守っていききたいという思いもあつたため、3年間話し合い、観客の増加により花火大会が盛り上がることに、旧町の活性化につながることを期待するとともに、次の日が休みとなることから運営スタッフやボランティアの人も参加しやすいのではと土曜日開催に同意しました。

新町区では毎年愛宕神社の祭礼日である7月24日に花火大会を開催してきたことから親しみを込めて「名張川納涼花火大会」を「愛宕の火火」と呼んでいます。



名張川を渡る「愛宕の火祭り」

事故やけがない花火大会にしたい！

名張市生活安全推進協議会 防犯部会 部会長 **西本 彰文**さん

また、交通規制は、花火終了後も安全確認などのためにすぐには解除されません。周辺道路も大変混雑しますので、会場へは徒歩か公共交通機関をご利用ください。

このパトロールは、わたしが防犯委員になった昭和50年には、すでに行われていました。当時は、防犯と書いたちょうちゃんを持ち、交通安全、雑踏警備が主な目的でした。現在は、青少年の非行防止も目的の一つとし、会場周辺だけでなく、大型スーパーなどのパトロールも行っています。

花火大会が事故やけがなく安全に実施されるよう、生活安全推進協議会委員(防犯部会)の約60人が6班に分かれ本部と連絡をとりながらパトロールを実施しています。



花火の記憶とともに、ごみの持ち帰りを！

名張中央ロータリークラブ 社会奉仕・環境保全委員会 委員長 **石原 博志**さん



「持って来たもの、買ったものは持って帰る」を徹底していただき、楽しい花火の記憶と一緒に、ごみも持ち帰ってほしいですね。

花火大会の翌日は、約15年前から会場周辺のごみ拾いを行っています。これは、地元への奉仕と、花火大会がいつまでも続いてほしいという願いで行っています。初めて参加したときは「こんなにもごみがあるのか」と驚いたのを覚えています。年々ごみの量は減ってきていますが、それでも昨年、清掃ボランティア全体で1,26トンのごみを回収しました。「わたしがらいい、これぐらいいいやろ」の考えが1トン以上のごみとなっています。



花火大会翌日の清掃の様子

花火大会翌日の清掃ボランティアに参加しませんか？ 愛宕神社に午前6時集合。軍手をお持ちください。